

科目名	解剖生理学 I	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
		開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Human Anatomy and Physiology I	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年
ふりがな	ひろ かわ ただ お	授業形態・修得単位	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中 講義・2単位
担当教員名	廣 川 忠 男	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	人体諸器官の解剖学的特徴（構造）および生理学的特徴（機能）について理解する。 解剖生理学 I では、細胞と組織、消化器系、血液、免疫系、循環器系、呼吸器系について学習する。		
授業概要	解剖生理学は生化学とともに、病態生理学や臨床栄養学等を深く理解していくうえでの基礎となる科目に位置づけられる。本講では人体を各器官系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造およびその機能について解説することにより、受講生がヒトの体内における生命現象がどのようなメカニズムによって行われているかについて学び、基礎的な人体の解剖と生理の概念を理解することをめざす。		
到達目標	①人体および各種器管系の構造上の特徴を理解し、各部の名称を覚えるとともに説明できる。 ②人体の生理機能に関する知識を習得するとともに、生体の恒常性の維持についてその原理を理解したうえで説明ができる。		
授業時間外の学習	授業の前にテキストの関連ページを通読し、よく理解できない事項を整理して臨むこと。生化学・病態生理学・臨床栄養学など他教科との関連性を意識して学習すること。常に復習（週に最低60分程度）を心がけ、分からない部分は図書館等で調べたり、教員に質問するなどして理解に努めること。		
履修条件	「解剖生理学Ⅱ」と併せて履修すること。		
授業計画			
第1回	テーマ： ガイダンス(解剖生理学で学ぶこと)、人体の概観（体幹/体肢/体腔/人体の面/位置関係）		
第2回	テーマ： 消化器系の構成（1）（口腔/咽頭/食道/胃）		
第3回	テーマ： 消化器系の構成（2）（小腸/大腸/肝臓/膵臓）		
第4回	テーマ： 消化と吸収の生理（1）（肝臓の機能/胆のうの機能/膵臓の機能）		
第5回	テーマ： 消化と吸収の生理（2）（咀嚼/嚥下運動/消化管ホルモン）		
第6回	テーマ： 消化と吸収の生理（3）（消化液分泌のしくみ/消化・吸収/消化管運動）		
第7回	テーマ： 血液の組成（血漿成分/血清/血球の分類と機能/血液型/ヒト白血球抗原/体液）		
第8回	テーマ： 血液の働き（1）（血漿たんぱく質の役割/運搬作用）		
第9回	テーマ： 血液の働き（2）（緩衝作用/酸塩基平衡/血作用/血液凝固反応）		
第10回	テーマ： 免疫と生体防御（リンパ系/免疫に関係する組織・細胞・成分/自然免疫/獲得免疫/アレルギー）		
第11回	テーマ： 循環器系の構成（心臓の構造/体循環/肺循環/胎児循環/血管系/リンパ管）		
第12回	テーマ： 循環器系の生理（1）（心周期/心音/心拍の調節/心電図/刺激伝導系）		
第13回	テーマ： 循環器系の生理（2）（血圧の調節機構/レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系）		
第14回	テーマ： 呼吸器系の構成（上・下気道/鼻腔/咽頭/喉頭/声帯/気管/気管支/肺胞/肺/肺葉/胸膜）		
第15回	テーマ： 呼吸器系の生理（ガス交換/肺気量/換気(吸気・呼気)のしくみ/呼吸運動の調節機構）		
第16回	定期試験		
テキスト	上嶋 繁ほか編：健康・栄養科学シリーズ「解剖生理学」，南江堂 2020（「解剖生理学Ⅱ」と共用）		
参考文献・資料	講義の中で適宜紹介する。		
成績評価の方法	出席回数の規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験（70%）、小テスト・レポート・受講態度（30%）により評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	毎週の授業終了時		
受講生に望むこと・受講のルール	毎回の出席カードで質問を受け付けるので、疑問点・理解できない点は遠慮なく質問すること。授業には積極的な姿勢で臨んでほしい。講義回数の3分の1を超えて欠席した場合は、期末試験の受験資格を失うので注意のこと。		